

かな表現者”として出演しているところで、4日間にわたり感動と交流のプログラムが企画されています。

会場1：EXPOホール「シャインハット」  
(東ゲートゾーン)

### 日本遺産「石見神楽(桑の木神楽会)」

(10月8日18時から)

島根県にある社会福祉法人いわみ福祉会の余暇活動から生まれた、障がい者が中心となって舞う郷土芸能・石見神楽。艶やかな衣装と迫力ある舞が織りなすステージは、伝統継承の新たな形と自己表現の可能性を鮮烈に提示し、観る者の心を揺さぶります。

### 「コンドルズ×ハンドルズ」によるダンスステージ

(10月9日17時から)

彩の国さいたま芸術劇場芸術監督の近藤良平氏が率いる「コンドルズ」と障がい者パフォーマンス集団「ハンドルズ」とのセッション。多様な身体が織りなす革新的なダンスステージです。

### DJ OSSHY (オッシー) の「インクルーシブ・ディスコ」

(10月10日15時30分から)

NHKをはじめ様々なメディアで話題のDJ OSSHY (オッシー) による、「ユニバーサル・ディスコ」の万博特別バージョン。障がい特性を超えた車椅子ダンスやダンス・音楽・ファッションがクロスオーバーするパフォーマンスショーも融合した“全員主役”のダンスフロアを創出します。

会場2：ギャラリーWEST  
(フューチャーライフゾーン)

10月9日から11日にかけて体験型プロジェクトがあります。

- ・黒澤 浩美氏(株式会社ヘラルボニー CAO)による展覧会「アバンギャルドですが、なにか」が開催されます。同時開催で、障がいのある人々の生活を助けたさまざまな製品の中から、歴史的に広く受け入れられたアイテムの紹介もあります。
- ・実際に使われているインクルーシブデザインを取り入れたグッズや出品作家の図録等の制作販売があります。
- ・農福連携キッチンカーによるフードコートがあります。障がいのある方々が関わる生産品は「表現」で

す。丹精込めた食材を、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村で食事提供をされたエームサービス株式会社の協力で“安全で美味しい”軽食が提供されます。販売・調理の一部は障がいのある方々が担当し、食を通じた交流がおこなわれます。

・万博での感動や出会いを心に刻み、多様な人々が共に生きる「未来社会のデザイン」を持ち帰ってもらうことを目標としています。

また、このフェスティバルは「未来社会をデザインするフェスティバル」と位置付けがされており、日本の障がいのある方々の文化芸術を世界に紹介するだけでなく、能登半島地震で被災された北陸地域の復興支援プログラムも計画されています。万博会場と全国各地を結ぶ「文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」にもつなげており、万博に訪れる海外の方々を地方へ誘致し、奥深い地域の魅力を体感する機会が創り出されています。

障がいのある方々の“確かな存在”を伝え、共生社会の未来を示すといった想いが込められた4日間です。

フェスティバルが行われる期間は、近畿各地の育成会から約250名のボランティアが参加し、大阪市育成会からも会員16名がサポートをしてくださいます。一方、ギャラリーWESTにおけるキッチンカーでの軽食販売には決済担当(レジ係)として、大阪府・大阪市の育成会のご本人と支援者、ご家族が担当してください。

10月13日に閉幕を迎える万博の思い出づくりに、障がいのある方々の素晴らしい舞台パフォーマンスやアート作品を是非ともご覧いただきたいと思います。

『第21回バリアフリー推進勉強会 in 関西』で  
発表を行いました

副理事長兼事業統括 上宮 俊一

9月12日、公益財団法人関西交通経済研究センター主催で「大阪・関西万博」で「目指したもの」と当事者から見た“現在地”をテーマとした勉強会がホテルプリムローズ大阪で開かれ、「知的・精神障がいのある方から見た万博」について発表をおこないました。

発表者は10名でバリアフリー、ユニバーサルデザイン、交通計画、福祉のまちづくり等を研究されている大学の先生が4名、福祉関係団体関係者が当職を含め6名で、視覚障がいのある方、高齢の方、車いすを利